



北海道大学大学院理学研究院附属天文台望遠鏡設置記念式典の開催について

下記のとおりお知らせしますので、報道・取材等をお願い申し上げます。

北海道大学大学院理学研究院附属天文台望遠鏡設置記念式典等開催概要

1. 記念式典

日時：平成 23 年 4 月 26 日（火）午後 1 時 30 分から
場所：グランドホテル藤花「銀河」（名寄市西 5 条南 4 丁目）
次第：

開会の辞	北海道大学大学院理学研究院教授	渡部重十
主催者挨拶	北海道大学大学院理学研究院長	山下正兼
祝辞	国立天文台長	観山正見
	名寄市長	加藤剛士
	北海道大学総長	佐伯 浩
望遠鏡説明	北海道大学大学院理学研究院教授	高橋幸弘
閉会の辞	北海道大学大学院理学研究院教授	渡部重十

※式典終了後、天文台に移動して望遠鏡見学会を行います。

2. 望遠鏡見学会

日時：平成 23 年 4 月 26 日（火）午後 2 時 45 分（予定）から
場所：なよろ市立天文台 名寄市字日進 157 番地 1（北海道立サンピラパーク星見の丘）

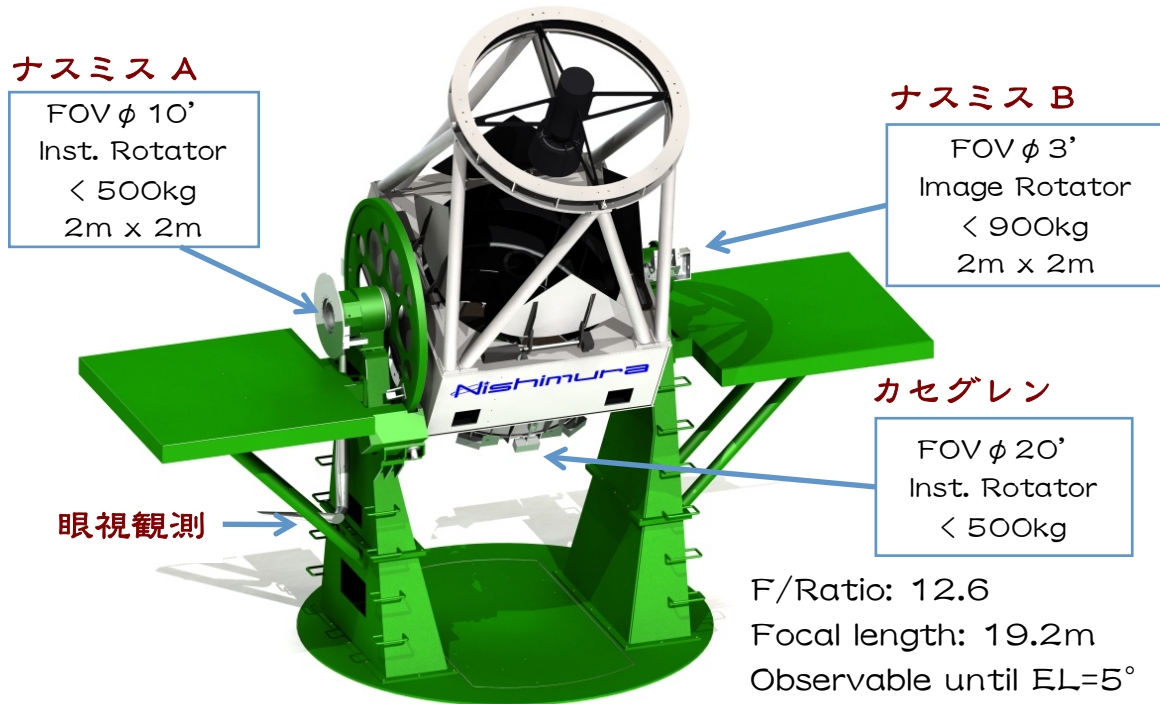
3. 「北海道大学大学院理学研究院附属天文台望遠鏡」について

（別紙をご参照ください）

お問い合わせ先

所属・職・氏名：北海道大学大学院理学研究院・教授 渡部 重十（わたなべ しげと）
TEL: 011-706-2757 E-mail: shw@ep.sci.hokudai.ac.jp

北海道大学
大学院理学研究院・附属天文台
ピリカ望遠鏡



主な搭載観測器 (予定を含む)

カセグレン焦点

NICE (NIR-Echelle) by Univ. Tokyo

0.9-2.4 μ m, 波長解像度 \sim 2600, 視野=3.5' x 3.5', 0.82" /pixel,
256x256 pixel HgTeCd Array (NICMOS3)

MSI (LCTF+ EM-CCD)

0.4-1.1 μ m, 波長幅=7-10nm, 視野 \sim 3.4' x 3.4', \sim 0.4" /pixel
512x512 pixel EMCCD (Hamamatsu)

Occulting CCD imager by Tohoku Univ.

DMDを利用した形状可変マスク付きイメージャ, S/N \sim 4000

ナスミスA焦点

Visible spectrograph

0.4-1.1 μ m, 波長解像度 \sim 1000-3000, 視野 \sim 10', 2k x 4k CCD

FTIR by Tohoku Univ.

8-12 μ m, 0.5cm⁻¹, FT/IR-620

ナスミスB焦点

IR-Echell spectrograph by Tohoku Univ.

1-4 μ m, R \sim 40000

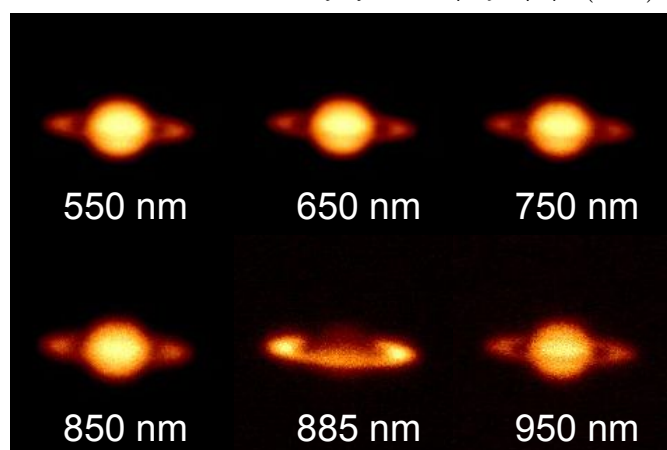
Bolometer array camera

10 μ m帯非冷却素子によるイメージャ

世界最大級の惑星観測優先望遠鏡

惑星の大気やプラズマの研究で地上望遠鏡の役割が見直されてきていますが、世界的にみても、太陽系内の惑星観測に十分な時間が確保されている望遠鏡は殆どありません。ピリカ望遠鏡は国内外の天文台と連携して、世界の惑星観測をリードしていきます。

ファーストライト (MSI)



優れた気象条件

☆ 梅雨時に特に高い晴天率を誇ります。

☆ 国内としては良好なシーイングです。

1.77 秒角 (typ.)、80%以上の時間で<2秒角

☆ 低高度ですが、低温のため水蒸気量が少なく、赤外観測にも適しています。

国内連携

「大学間連携による光・赤外線天文学研究教育拠点のネットワーク構築」事業で、国内の大学及び国立天文台と協力して、突発天体等の連携観測に積極的に貢献します。

国際連携

惑星探査に同期した国際的な地上観測網を牽引しているパリ天文台など海外研究機関との連携を推進しており、金星探査機あかつきや Venus Express と共に行う金星観測、さらに将来の木星国際連携探査計画で、地上観測拠点として大きな役割を果たすことが期待されています。